

「『あの日のオルガン』映画上映会」

提出日 令和元年 10月 31日

支部長名 種田貴志子

○ 実施日 令和元年 10月 25日（金）  
時間 18時 00分～ 20時 00分

○ 共催 北私幼北空知・留萌支部・滝川幼稚園

○ 会場 願成寺 本堂

○ 参加者 全幼研道北道東支部・北私幼北空知留萌支部・北海道拓殖大学短期大  
学部・北海道國學院短期大学部・近隣の中高生  
滝川市子ども子育て応援課職員・他一般の方  
(計 76名)

○ 内容

映画『あの日のオルガン』を鑑賞して、その後 語りあった。

『あの日のオルガン』を 願成寺の本堂で76名の方々が 集まって鑑賞した。  
シークレット上映ということではあったが、北海道私立幼稚園協会 留萌・北空知  
支部の方々やインターンシップで訪れた 中学生・高校生、近隣の短大に呼びかけ  
実施した。

映画館の閉館があいついでいるこの地域では、「この映画を観たかった」と1時間以  
上もかけて留萌から来てくれた方もいた。

映画の設定場所もお寺の本堂、会場も本堂という事で なかなか良い趣きとなった。  
上映後、一般・学生は、遅いのでお帰りいただいたが、  
一般の方々は、『戦争は二度と行ってはならないと思った。』『久々に良い映画を見る  
事ができた』等 感想を言って帰られた。

その後、支部の会員で感想を語り合った。

(感想)

※1年目の教諭は、あんなに若い先生たちが 情熱を持って子ども達のために献身的に 尽くしている姿を観て自分だったらできるかどうか・・・と考えさせられた。

※現代も色々な災害等が起こって 子ども達の笑顔の為私たちがすべき事、お手本となる事が この映画の中に沢山入っていた。時代が変われども 起こった事が戦争という計り知れないものでは、あるけれど 子ども達の為 明日からも意識して保育をしていきたい。

※原作も読んだが、映像を観て本当にこんな若い先生が 献身的に子ども為に行動していたのだと思うと 年を重ねた自分がこの様な思いで今まで子どもに向き合っていたのかどうか 反省させられた。近づけられる様 保育に向き合っていきたい。

など 感想を述べ合って解散となった。

○まとめ (成果と課題)

- ・ 参加者それぞれが、保育の原点である『子ども達のために』という思いをあらためて再認識する事できた。  
また、未来を担う子供たちの為 平和な世の中をつくっていかねばと固く思う機会を与えられた場になったと思う。
- ・ 養成校の学生にも感想をお聴きすると良かった。
- ・ 音響、画像もクリアだったので支障は、なかったと思う。